

議題

公民館における社会教育事業充実のための コミュニティデザイン (Community Design) の見直し

2020.11.19.Thursday

前橋市桂萱公民館

桂萱地区のCDの説明・紹介

【出会い・発見編】

○保有する地域資源を記載

- ▶地域の自然
- ▶歴史・文化
- ▶新興住宅・商業施設
- ▶立地・防災
- ▶交通
- ▶教育・保健・医療
- ▶高齢者介護施設

○地域課題を記載

- ▶高齢化率の上昇、独居高齢者の増加
- ▶地域活動の担い手不足、参加者の固定化

【仕掛ける・つなぐ編】

○事業区分と概要を記載

- ▶子育て・親子支援
- ▶青少年体験・チャレンジ活動
- ▶学び合い、人権、地域ふれあい事業
- ▶自主グループ活動支援など

【願い・思い（夢）編】

○公民館で果たす使命・責務を記載

- ▶地域ニーズと特性に応じた事業策定
- ▶地域人材の発掘・活用・学習成果の還元
- ▶住民協働による地域課題の解決
- ▶タイムリーな情報収集と効果的な情報発信
- ▶公民館評価の活用による事業改善



桂萱地区CD【出会い・発見編】
新任職員が地域資源・魅力を把握するためのツール(ネタ帳)として活用している

CDを意識した公民館事業（活用の現状）

新型コロナを踏まえた年度当初の課長指示に基づき、今年度は、公民館報の充実とオンライン講座の実施に力点を置いている。また、CDを意識した公民館事業を実施するにあたっては、地域課題解決力を以下のとおり定義している。

地域課題解決力



④住民の学びの意欲



⑥地域愛着度

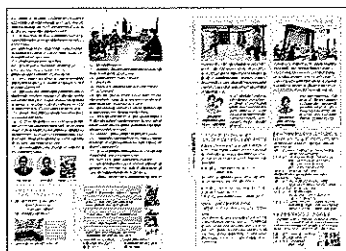
公民館報の充実

- ④楽しそうな様子を掲載し、学習意欲を刺激
- ⑥歴史や人物を紹介、地域愛着を醸成する

【変更前】公民館報桂萱：B4モノクロ両面印刷で13,000部
各団体のお便り：B4モノクロ両面印刷で13,000部

【変更後】公民館報桂萱：A4×4Pカラー印刷で13,000部
(公民館報+団体便りの合同発行に変更)

- ★カラー版となり写真映えもして、住民からは好評
- ★綴じ代が必要との要望が寄せられ10月号で変更済



オンライン講座の実施

- ④意外な講座を投入、好奇心を刺激
- ⑥地域講師が登場、地域愛を育む

・R2.5月よりYouTube経由で動画配信講座を実施中

《取扱いテーマ（実績）》

- ▶クラフト系 布マスクづくり/おもちゃづくり*4/弓矢づくり
- ▶運動系 体幹トレーニング*3/リフレッシュヨガ/ウォーキング
- ▶料理系 KITCHENゼミ/おむすび講座/キャラチョコ講座
- ▶その他 写真講座/フクロウ通信(ロビー展紹介)

《受講者の動向：第1期申込27名》

20代…1人、30代…1人、40代…7人、50代…8人
60代…6人、70代…4人、80代なし



CD活用に係る問題点・意見

《問題点》

- ①公民館経営の指針にならず、地域課題に係るデータも不十分。地域資源のネタ帳/転入職員の説明資料として利用価値有。
- ②CDに成果指標や活動指標を位置付ける様式になっておらず、年度別の事業評価が反映されない=事業計画に紐づかない。
- ③現状、公民館が“コミュニティをデザインする”形態になっているが実力以上のミッションになっており、取扱いが難しい(公民館のコーディネーター機能を重視した方が筋が良い…と思われる)

《改善の方向性（意見）》

- ①各年度の事業評価の受け皿となる適切な活動指標とリンクさせる必要がある。
- ②小中学校が進める地域学校協働活動との整合も含めて、コミュニティデザインの主体形成を再構築する必要がある。
- ③地域資源も重要であるが、地域課題の把握につながる資料とする必要がある。